

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 平成26年度事業報告書

1	委 員 会 名	国際経済委員会 委員長 青山 隆一
2	活動方向と成果	鳥取県西部地域の発展には、隣接するアジア地域との経済交流が重要なテーマとなっており、行政による直接支援も拡大していることから、海外視察研修会（タイ・バンコク）を実施し、販売チャネルとしての可能性を中心に検討した。 また、当地についてベトナムからの雇用受入が増加していること及び介護分野での受入が検討されていることから、ベトナムを中心とした東南アジアの政治経済情勢を探るべく、講演会を実施した。 年間の活動を通じて、今後もアジアビジネスが急速に拡大していくことを確信した。
3	今 後 の 課 題	各企業もアジア進出に積極的であると感じており、国際経済委員会では、海外展開に取り組む事業者の方々を支援する必要性から、広く海外情勢の調査、検討を進めていく。
4	活 動 の 経 過 （正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）	視察会 ■タイ・バンコク視察研修会 日 時：平成26年5月20日（火）～23日（金） 場 所：ジェトロバンコク、山陰合同銀行バンコク事務所 他 共 催：米子商工会議所金融業部会 内 容：①説明会・意見交換会（ジェトロバンコク） ・説明者：バンコクビジネスサポートセンター 代表 岡部 研一郎 氏 ②説明会・意見交換会（山陰合同銀行バンコク事務所） ・説明者：山陰合同銀行 バンコク駐在員事務所 所長 原 善雄 氏 ③商業施設視察 ・視察施設：セントラルワールド（百貨店）、伊勢丹 参加者：8名（当会より5名参加） 例会等 ■例会 日 時：平成27年3月4日（水）15：00～17：00 場 所：米子全日空ホテル 共 催：米子商工会議所金融業部会 内 容：講演会 ・演題：ベトナムを中心とした東南アジアの政治経済展望 ・講師：元 駐ベトナム特命全権大使 坂場 三男 氏 参加者：26名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 平成26年度事業報告書

1	委 員 会 名	教育問題委員会 委員長 永島 正道
2	活動方向と成果	「教育問題」は国や県、市町村の教育行政の成果として発生してくる「問題」、学校そのものに起因する「問題」、家庭環境や社会環境に影響された事象が表面化する「問題」、あるいは生徒児童の個々が抱える「問題」、果ては既に仕事に就いている社会人に対する再教育「問題」等々の切り口の違いによって全く異なる対応が考えられる。 25年度26年度の2年間については「将来の労働力提供者となる次世代への期待」を含め、『教育フォーラム』と称して今後経済同友会がどのような関わり方をすれば良いのかを考えるための実験を試みた。 米子市の中学2年生を対象に「何のために勉強するのか?」「働くとはどういう事なのか?」についてグループ討議をさせて各自の一層のモチベーションアップへ繋げさせた25年度に引き続いて、26年度は実社会に出る直前の人として、米子工業高等専門学校建築学科の協力を得て、同学科の3年生、4年生を対象に主として「コミュニケーション」「チームワーク」「リーダーシップ」をテーマとするゲームを体験させて、それぞれのゲームの直後に実施する「振り返り」で各自の反省と今後の意気込みを引き出させた。 「振り返り」で各グループの代表者が行った発表と後日提出させた全員のレポートから総合して、以下のような事が言える。 ① 仕事をするにあたって社会（企業）で求められる事柄等については知識としては持っているが、それを実際の自分の日常に移し替えて行動したことはない。 ② 「目標」を達成するためにしなくてはならない自分の役割に気付けないか又は気付くまでにかなり時間がかかる。 ③ 自我の主張は得意。 ④ 当日は思ったより上手くいなくて落ち込んだ。 上記①～③について多くの学生が当日反省に挙げ、「本を読み、講演を聞いて頭で理解しただけの自分ではダメ。行動できなければ意味がない!」事に自ら気付いた模様。今後の彼らの生活の仕方に何らかの変化
3	今 後 の 課 題	中学2年生と高専3年生4年生をサンプルとして2年間実験を行い、感じた事は次の事である。俗に「社会人として求められている事」とか「就職するに最低限知っていないといけない事」などという見出しの記事が本や雑誌に最近特に氾濫しているが、多くの学生や生徒は文字どおり「知っている」で終わっているのではないかという事である。 具体的にそれはどういう事なのかを体験的に理解できていないままに職場に入り、失敗を繰り返して自信を無くすという事もあるのでないか。実社会に出るまでに何らかの機会を捕まえて「もし現在のままの自分が仕事に就いたら…」という事を体験させておく必要があるのではないか?しかしながらその時間さえなかなか確保できないのが現在の学校教育現場である。確かに職場体験やインターンシップなるものは中学や高校で盛んに行われている。しかしそこでは原則「失敗」とか「出来ない」という文字は無い。出来る事しかさせないのだから。そこで本人は「完璧なつもりになる」。これこそが「教育問題」なのかもしれない。そして講演を聞かせるだけでは解決できない問題でもあろう。これらの問題解決に向けては、教育行政、学校とも連携し、取組む必要がある。
4	活 動 の 経 過	(正副委員長会議・委員会・例会等開催歴)

委員会等

■委員会

日 時：平成26年7月1日（火）11：30～13：00
場 所：米子商工会議所
内 容：①平成26年度事業 教育フォーラムについて
②その他
参加者：6名

■教育フォーラム実施に係る検討会

日 時：平成26年8月12日（火）16：00～18：00
場 所：米子商工会議所
内 容：①第2回教育フォーラム実施について
②その他
参加者：6名

■委員会

日 時：平成26年10月7日（火）11：30～13：00
場 所：米子商工会議所
内 容：①平成26年度事業 教育フォーラムについて
②その他
参加者：6名

■委員会

日 時：平成26年11月12日（水）14：00～16：50
場 所：米子商工会議所
内 容：①第2回教育フォーラム事前研修
②その他
参加者：7名

例会等

■第2回教育フォーラム

～ゲームを通じて体験する 仕事で必要とされるスキル～

日 時：平成26年12月20日（土）14：00～17：00
場 所：米子商工会議所
内 容：教育訓練ゲーム

（トレーナー：教育問題委員会 委員長 永島 正道）

・セッション1 コミュニケーション能力
（言葉によるコミュニケーション）

・セッション2 チームワーク

・セッション3 情報、集団思考、リーダーシップ

参加者：米子工業高等専門学校学生30名、学校関係者1名、
鳥取県経済同友会西部地区14名 合計45名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 平成26年度事業報告書

1	委 員 会 名	西部広域まちづくり委員会 委員長 長谷川 義明
2	活動方向と成果	人口減少に歯止めのかからない鳥取県にあって海外および他府県からの移住促進につながるまちづくりを目指して、今年度は㈱三菱総合研究所 プラチナ社会研究センター主席研究員 松田 智生 氏をお招きしC C R C (Continuing Care Retirement Community) のアメリカでの実態や日本版C C R Cに関する取り組みなどについてご講演を頂いた。このアメリカ生まれのまちづくりの手法は直訳すると「継続的ケア付引退者集落」と言うべき概念であり、今後日本社会で少子高齢化が進んだ場合の大変重要な課題であり、内閣の地方創生事業の有力候補となりうる事業である。
3	今 後 の 課 題	なにをもって「Continuing」とするかと言う事について「既存の有効な手段がある訳では無くこれから、みなさん自身が創出しなければならない課題であり、まさにそれこそが鳥取版C C R Cと呼べる事業となる。」とは上述の松田氏のお言葉である。今後我々はまちづくりの中でもこの鳥取版C C R Cの仕組みづくりに取り組むべきであると考えている。
4	活 動 の 経 過 (正副委員長会議・委員会・例会等開催歴)	例会等 ■例会 日 時：平成27年2月3日(火) 12:00～14:00 場 所：米子全日空ホテル 内 容：講演会 ・テーマ：日本版C C R Cの可能性 ピンチをチャンスに変える地方創生 ・解説者：㈱三菱総合研究所プラチナ社会研究センター 主席研究員 チーフプロデューサー 松田 智生 氏 参加者 32名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 平成26年度事業報告書

1	委 員 会 名	鳥取県経済再生成長戦略検討委員会 委員長 松村 順史
2	活動方向と成果	鳥取県西部総合事務所と会議を持ち、県の掲げる経済対策施策の内、西部地区にて展開できる事案を打ち合わせ・確認した。中々妙案は出てこなかったが、日本海側に面し、鳥取県に近い施策を打ち出している新潟県の産業労働観光部 参与 河合 雅樹 氏をお招きした例会を開会し、同県の状況をお聞きした。 その施策の中にCCRCが含まれており、更に打ち合わせを重ねた結果、本年2月の西部広域まちづくり委員会の例会にて、(株)三菱総合研究所プラチナ社会研究センター 主席研究員 チーフプロデューサー 松田 智生 氏にご出張頂いてCCRCの現状と詳細をお聞きすることができた。また、合わせて鳥取県へ持ちかけた結果、鳥取県として西部地区各市町村へCCRCの勉強会を実施する等今後の展開に繋ぐことが出来た。
3	今 後 の 課 題	平成27年度以降も経済成長は地方創生の重点項目であり、先進地の事例などを参考にしつつ、鳥取県西部総合事務所と連携し、鳥取県西部地区版の経済成長戦略を検討して行きたい。また、経済成長に関わる事項は他の委員会の活動と重複するところも多く、同友会内部でも調整が必要と考える。
4	活 動 の 経 過 (正副委員長会議・委員会・例会等開催歴)	委員会等 ■正副委員長会議 日 時：平成26年8月7日(木) 19:00～20:30 場 所：ピアノピアノ 内 容：①今後の取組みについて ②その他 参加者：5名 例会等 ■例会 日 時：平成26年11月11日(火) 12:00～14:00 場 所：米子全日空ホテル 内 容：講演会 ・演題：健康ビジネスによる地方産業の高付加価値化 新潟県健康ビジネス連峰政策の例 ・講師：新潟県 産業労働観光部 参与 河合 雅樹 氏 三菱商事(株)関西支社 副支社長 渥美 裕之 氏 参加者：34名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 平成26年度事業報告書

1	委 員 会 名	鳥取島根合同委員会 委員長 伊木 隆司
2	活動方向と成果	安倍内閣の重要施策である「地方創生」について、私たちの住む山陰地方がどのような形で地方創生を実行に移していくのか、これを大きなテーマにして事業を行った。平成27年3月に開催した合同懇談会については、「地方創生 山陰はどうする？」と題して、講師に公益社団経済同友会の副代表幹事を務める富山 和彦 氏をお招きし、「なぜローカル経済から地方は甦るのか」を演題に講演会を行った。講演の中では地方の企業がどういう点に着目し、何から手を付けていくべきか、具体的な話を聞くことができた。懇談会に出席した両県の会員から、「わかりやすかった」、「話が実践的だった」などの評価があった。
3	今 後 の 課 題	地方創生は始まったばかりだが、この機を捉えて具体的な提言に結び付けていく必要がある。また、当委員会の目的でもある、島根県側との交流促進につながるテーマを探していくことも重要である。
4	活 動 の 経 過 （正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）	研修会 ■鳥取県経済同友会・島根経済同友会 隠岐島合同視察研修 日 時：平成26年10月23日（木）～24日（金） 場 所：隠岐の島町、隠岐プラザホテル、西ノ島町 内 容：①隠岐の島町ジオパーク視察 ②記念講演 ・演題：離島からの挑戦～最後尾から最先端へ～ ・講師：隠岐郡海士町長 山内 道雄 氏 ③意見交換 ④交流懇親会 ⑤西ノ島町視察 参加者：7名 委員会等 ■鳥取島根合同委員会 日 時：平成26年8月11日（月）12：00～13：30 場 所：島根経済同友会事務所 内 容：①鳥取県・島根経済同友会の隠岐島視察研修について ②その他 参加者：5名（島根経済同友会より9名出席） ■正副委員長会議 日 時：平成27年2月6日（金）12：00～13：00 場 所：日本料理 雲海 内 容：①第41回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会について ②その他 参加者：5名

■鳥取島根合同委員会

日 時：平成27年2月16日（月）12:00～13:30

場 所：米子商工会議所

内 容：①第41回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会について
②その他

参加者：5名（島根経済同友会より4名出席）

例会等

■鳥取県島根経済同友会合同懇談会

日 時：平成27年3月18日（水）15:00～19:20

場 所：米子全日空ホテル

内 容：講演会

・演題：なぜローカル経済から日本は甦るのか

・講師：（公社）経済同友会 副代表幹事 富山 和彦 氏

参加者：86名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 平成26年度事業報告書

1	委員会名	広域観光戦略特別委員会 委員長 石村 隆男
2	活動方向と成果	昨年度エコツーリズム国際大会（平成25年10月）が米子、大山広域圏域を舞台に開催され、エコツーリズムと観光・地域活性化について、関係者はもとより市民の方々にも広く認識して頂けた。今年度も継続して「とっとりスタイルのエコツーリズム」の啓発活動を行い、さらに一步進んだ地域のエコツーリズム、スポーツツーリズムを活かした観光振興策を検討するための啓発セミナー『とっとりスタイルエコツーリズムセミナー』を企画した。 “お客様に選ばれる地域の魅力とは” “地域活性化のための持続可能な観光振興”をテーマに、全国の先進事例を参考にしながら、当地域の特性、進むべき方向など議論をし、多くの関係者の意識を高めることが出来た。また、全国的に増えてきた外国人旅行者（インバウンド）に対していくことについての重要性についてもあらためて認識すること
3	今後の課題	観光産業は観光事業者だけでなく、地域をあげての総力戦の時代となった。6次産業化と表現されるよう、農水産業や加工業などとの連携があつてはじめて選ばれる地域になる。また、交通網の整備が進み、広域観光の視点での取り組みや、大きく増加するインバウンドの対応についても、態勢づくりが求められている。地域の特性を活かしながら進めていくエコツーリズム視点に立った地域振興は“地域創生”の柱になるはずで、具体的な展開について、その組立の検討が必要となる。
4	活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）	委員会等 ■第1回正副委員長会議 日 時：平成26年9月16日（火）18：30～21：00 場 所：桔梗屋 内 容：①平成26年度員会事業について ②その他 参加者：3名 ■第2回正副委員長会議 日 時：平成27年1月19日（月）12：00～13：30 場 所：日本料理 雲海 内 容：①担当例会「エコツーリズム啓発セミナー」の開催について ②広域観光戦略の視点から 当地の観光の今後のあるべき方向について 参加者：4名 例会等 ■例会 『とっとりスタイルエコツーリズムセミナー』 ※当セミナーは大山山麓観光推進協議会と共同開催 日 時：平成27年2月23日（月）14：30～17：50 場 所：米子全日空ホテル 内 容：①マレーシアガイド研修報告 ②講演会 ・演題：お客様に選ばれる地域の魅力とは

- ・講師：日本エコツーリズム協会 理事 山田 桂一郎 氏
(JTIC. SWISS代表／観光カリスマ)

③パネルディスカッション

- ・テーマ： 地域活性化のための持続可能な観光振興
- ・パネリス1 (株) 知床ネイチャーオフィス 代表 松田 光輝 氏
(有) 森の国 代表 伊澤 大介 氏
NPO法人大山中海推進機構 理事長 石村隆男 氏

参加者： 98名 (当会16名)

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 平成26年度事業報告書

1	委 員 会 名	地域活性化特別委員会 委員長 岡空京子
2	活動方向と成果	鳥取県の豊富な地域資源の中で日南町の農産物に着眼し、地元で活動されているNPO法人フォレストアカデミージャパン 理事長 狩野 宏氏による講演と試食会を実施した。 地域再生と経済活性化には地域資源の活用がカギとなる。取り巻く環境の厳しさはあるが、活性化に努める現状と今後の展望を知る良い機会となった。
3	今 後 の 課 題	地域の活性化のために、地域資源の活用は今後ますます重要になってくると考える。そのためにも地域にどのような資源があるかを知り、それをどのような形でビジネスに繋げていくかについてさらに検討が必要である。 また、悪天候により当初計画していたヒメホテルの鑑賞が実施できなかった。森に生息し、7月の七夕前後が見ごろとなる、希少でかわいいヒメホテルは静かなブームを起こし、地域活性化に一役買っている。参加を予定していた方々からも実施について多数要望があり、次年度以降の委員会で地域資源の活用という形で今後取組んで頂きたいと思う。
4	活 動 の 経 過 （正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）	委員会等 ■正副委員長会議 日 時：平成26年5月24日（土）18：30～21：00 場 所：日本料理 心 内 容：①平成26年度委員会事業について ②その他 参加者：3名 ■正副委員長会議 日 時：平成26年6月27日（金）15：30～16：30 場 所：高島屋 ローズダイニング 内 容：①「日南町の地元食材の再発見と自然を体感する会」の実施について ②その他 参加者：3名 例会等 ■日南町の地元食材の再発見と自然を体感する会 日 時：平成26年11月18日（火）18：00～21：00 場 所：農家レストランアメダス茶屋 内 容：①講演会 ・演題：森を活かした町づくりへの取り組み ・講師：NPO法人フォレストアカデミージャパン 理事長 狩野 宏 氏 ②日南町の地元食材の再発見 参加者：19名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 平成26年度事業報告書

1	委 員 会 名	コンテンツビジネス産業育成特別委員会 委員長 長谷川 泰二
2	活動方向と成果	コンテンツビジネスへの取り組み機会をつくるため、ヒットコンテンツ研究所 代表取締役社長 吉田 就彦 氏にセミナー講師をお願いした。数々のヒットコンテンツを創り、どのようにビジネス展開を実践されたか興味深い刺激的なセミナーであった。話題になっている21世紀の資本を題材にして、地域が自立するために地域が創るコンテンツの重要性を体験した。また、マーケティング4.0の世界の説明も私たち山陰に暮らすクリエイターには心強いメッセージとなった。 講演の中で述べられた「願いを叶えるマーケティング」というメッセージは今後取り組んでいくキーワードであった。文化圏を同じくする地域がそれぞれの特性を活かして連携していく以外に地域が生き残る術はないことを共感した。水木しげるロードと出雲大社を根幹に据えて地域連携による地域活性化にまんが・アニメなどのコンテンツを活用していきたいと可能性を感じた活動となった。
3	今 後 の 課 題	鳥取県のコンテンツビジネス支援は充実しており、グッドスマイルカンパニーの企業誘致の成功をきっかけに、今後もこのジャンルの企業進出が期待できる。地元のクリエイター支援、起業支援などに理解を求めながら産業育成に取り組んでいきたいが、まだまだ緒についたばかりであり、課題は多い。さまざまな機会をみつけて理解を求める活動が脆弱である。県全体の動きとなるように東部・中部の経済同友会のメンバーにも支援を求める必要がある。
4	活 動 の 経 過	例会等 ■例会 日 時：平成27年2月20日（金）15:00～17:00 場 所：米子全日空ホテル 内 容：①講演会 ・演題：マーケティング4.0時代への地域サバイバル ～21世紀の資本から地域が自立するために～ ・講師：㈱ヒットコンテンツ研究所 代表取締役社長 吉田 就彦 参加者：36名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 平成26年度事業報告書

1	委 員 会 名	鳥取大学医学部連携特別委員会 委員長 内田 幸男
2	活動方向と成果	本年2月に鳥取大学医学部附属病院から講師を招いて講演会の開催を予定していたが、講師体調不良のため中止となり、代わって5月に元 鳥取大学大学院医学系研究科 准教授 飯塚 舜介 氏を講師にお招きし、「ADは予防できるか？」という演題でアルツハイマー型認知症の原因とその予防についての最新の研究についてご講演頂いた。 高齢社会の進展により関心の高いテーマである認知症について最新の医療研究の成果を知ることが出来た。また、このような研究を行うための高度医療機関としての鳥取大学医学部附属病院の重要性を改めて確認した。
3	今 後 の 課 題	鳥取大学医学部附属病院は「地域医療」と「教育機関」という部分の役割があり、米子市にとって重要な拠点の1つである。先端医療への取組みも積極的に行っており、先進医療機関が所在することは地域の強みでもある。また、職員や学生の衣・食・住を含めると、地元の経済波及効果は計り知れない。 近隣の医学部間で競争が激化していく中で、鳥取大学医学部附属病院が米子市に存続し続けてもらえるように、鳥取大学部との意見交換等を通じ、経済界からどのような支援が出来るか、今後も検討していかね
4	活 動 の 経 過 （正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）	例会等 ■例会 日 時：平成27年5月14日（木）17:00～18:30 場 所：ホテルサンルート米子 内 容：講演会 ・演題：ADは予防できるか？ ・講師：元 鳥取大学大学院医学系研究科 准教授 飯塚 舜介 氏 参加者：17名 ※平成26年度事業として開催

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 平成26年度事業報告書

1	委 員 会 名	境港活用特別委員会 委員長 中西 健一郎
2	活動方向と成果	「境港が変わる、境港が変える、そして明日へ」と題した昨年度の境港駅前ホテルに関しての講演会に引き続き、今年度はギンザケ養殖を4月より本格稼働される弓ヶ浜水産㈱の代表取締役社長 鶴岡 比呂志氏にご講演頂いた。ギンザケは境港にとって今までなかった資源の登場であり、これから新たなブランドとしての活躍が期待される。 また、昨年に続き「今日だけ 絶品茹でがに小屋 in 境港」も同時に開催した。昨年とは少し提供の仕方を変え、参加者の意見などをもとに、境港地元発信の松葉がにを主役とした最高の食の物語を創る事が出来ればと考えている。
3	今 後 の 課 題	新たにできるもの、昔からあるもの、他地域のものをうまく活用・融合し、新たなモノを創造していくのが港の役割であり、『境港』の役割と考える。境港駅前ホテルの開業やクルーズ客船の寄港といったチャンスをつかみ、従来からある資源と新たな資源をつなぎあわせて新たな魅力を創造し、提供していくことが必要である。
4	活 動 の 経 過 （正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）	委員会等 ■正副委員長会議 日 時：平成27年2月20日（金）12:00～13:30 場 所：境港さかなセンター内 美なと亭 内 容：①例会について ②当日の役割、進行について ③予算等確認 参加者：4名 例会等 ■例会 日 時：平成27年3月3日（火）17:00～19:30 場 所：境港さかなセンター内 美なと亭 内 容：①講演会 ・演題：美保湾におけるギンザケの養殖について ・講師：弓ヶ浜水産㈱ 代表取締役社長 鶴岡 比呂志氏 ②今日だけ 絶品茹でがに小屋 参加者：21名

鳥取県経済同友会西部地区平成26年度事業報告書

〔 自 平成26年4月 1日 〕
〔 至 平成27年3月31日 〕

1. 諸会議

定時総会

期日	場所	内容	出席者
H26. 6. 4	米子全日空ホテル	①平成25年度事業報告並びに収支決算承認について ②平成26年度事業計画（案）並びに収支予算（案）決定について ③副代表幹事（追加）選任について ④その他	40名

幹事会

期日	場所	内容	出席者
H26. 6. 4	米子全日空ホテル	①平成26年度定時総会上程案件について ②その他	23名

監査会

期日	場所	内容	出席者
H26. 5. 19	米子商工会議所	①平成25年度事業及び会計監査について ②その他	2名

懇談会

期日	名称	場所	内容	出席者
H26. 4. 23	第40回鳥取県・島根経済同友会合同懇談会	ホテル一畑	①プレゼンテーション ・山陰海岸ジオパーク 発表者：山陰海岸ジオパーク推進協議会 国際課長 漆原 利明 氏 ・隠岐世界ジオパーク 発表者：隠岐ジオパーク推進協議会 隠岐の島町生涯学習課長補佐 野辺 一寛 氏 ②パネルディスカッション ・テーマ：山陰海岸並びに隠岐諸島の観光振興を考える ～世界ジオパーク認定を活かして～ ・パネリスト 山陰海岸ジオパーク推進協議会 副会長（鳥取県岩美町長） 榎本 武利 氏 隠岐ジオパーク推進協議会 会長（島根県隠岐の島町長） 松田 和久 氏 鳥取県経済同友会副代表幹事 吉田 幹男 氏 ・コーディネーター 島根経済同友会代表幹事 宮脇 和秀 氏 ③懇親会	116名 (当地区より 16名出席)
H26. 7. 23	第22回鳥取県・岡山経済同友会合同懇談会	高梁国際ホテル、頼久寺、魚富	①意見交換会 ■岡山 ・演 題1：産学連携（岡山大学との連携）について ・発表者1：（一社）岡山経済同友会 代表幹事 萩原 邦章 氏 ・演 題2：IHN（総合医療ネットワーク）のその後 ・発表者2：（一社）岡山経済同友会 地域振興委員 吉田 淳一 氏 ■鳥取県 ・演 題：岡山県・鳥取県共同アンテナショップを活用した地域振興 ・発表者：鳥取県経済同友会 副代表幹事 小谷 寛 氏 ②講演会 ・演 題：山田方谷と高梁 ・講 師：高梁市文化財保護審議会 会長 児玉 享 氏 ③街並散策、天柱山頼久寺庭園観賞 ④懇親会	38名 (当地区より 9名出席)
			・テーマ：「地方創生 山陰はどうする？」	

H27. 3. 18	第41回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会	米子全日空ホテル	～地方経済が甦るために必要なこと～ ①講演会 ・演 題：なぜローカル経済から日本は甦るのか ・講 師：（公社）経済同友会 副代表幹事 富山 和彦 氏 ②懇親会	86名 (当地区より 36名出席)
------------	----------------------	----------	---	-------------------------

例 会

期日	場所	内容	出席者
H27. 9. 24	米子全日空ホテル	担当 総務委員会 ■分散型エネルギーセミナー ・講演会 演題 地域暖房・コジェネ設計に関する欧州の知見と収集 講師 環境ジャーナリスト 村上 敦 氏 ・米子市事業紹介 テーマ よなごエネルギー地産地消・資金循環モデル構築事業 発表者 米子市経済部 経済戦略課 鶴籠 博紀 氏 ・意見交換	42名
内容	今回のオープン例会ではドイツ在住の環境ジャーナリスト 村上 敦 氏に「地域暖房・コジェネ設計に関する欧州の知見と収集」と題してご講演頂いた。年間300億円規模のエネルギー費用が米子市から地域外に流出している現状を踏まえ、この資金流出を如何にして最小化し、地域内で循環させるかについて先進国ドイツの事例を引きながらご説明された。 また、米子市が現在取組んでいる「よなごエネルギー地産地消・資金循環モデル構築事業」について米子市経済部 経済戦略課 鶴籠 博紀 氏からご説明頂いた。		
#####	米子全日空ホテル	担当 鳥取県経済再生成長戦略検討委員会 ■講演会 演題 健康ビジネスによる地方産業の高付加価値化 新潟県健康ビジネス連峰政策の例 講師 新潟県 産業労働観光部 参与 河合 雅樹 氏 三菱商事(株)関西支社 副支社長 渥美 裕之 氏	34名
内容	今回の例会では新潟県産業労働観光部 参与 河合 雅樹 氏に「健康ビジネスによる地方産業の高付加価値化 新潟県健康ビジネス連峰政策の例」と題して、新潟県が取組む健康ビジネスについてご講演頂いた。 日本の高齢化は世界で最も早く進んでおり、今後元気な高齢者向けの市場の拡大が見込まれ、また、世界的に見ると人口増と高齢化が進んでおり、日本で成功したビジネスモデルが世界市場の先行例と成り得るとのことであった。このほか、今後注目すべき取組みとしてC C R C (Continuing Care Retirement Community) について紹介された。		

#####	農家レストラン アメダス茶屋	担当 地域活性化特別委員会 ■日南町の地元食材の再発見と自然を体感する会 ・講演会 演題 森を活かした町づくりへの取り組み 講師 NPO法人フォレストアカデミージャパン 理事長 狩野 宏 氏 ・日南町の地元食材の再発見	19名
内容	今回の例会は「日南町の地元食材の再発見と自然を体感する会」をテーマに日南町の農家レストラン アメダス茶屋を会場に開催した。 講演会では、NPO法人フォレストアカデミージャパン 理事長 狩野 宏 氏を講師にお招きし、「森を活かした町づくりへの取り組み」と題してご講演頂いた。講演後は「日南町の地元食材の再発見」をテーマに日南町の食材を活かしたメニューが参加者に提供された。		
#####	米子商工会議所	担当 教育問題委員会 ■第2回教育フォーラム ～ゲームを通じて体験する 仕事で必要とされるスキル～ ・教育訓練ゲーム トレーナー：教育問題委員会 委員長 永島 正道 氏 セッション1 コミュニケーション能力 (言葉によるコミュニケーション) セッション2 チームワーク セッション3 情報、集団思考、リーダーシップ	米子工業高等専門学校学生30名、学校関係者1名、当会14名 合計45名
内容	第2回教育フォーラムでは、米子工業高等専門学校建築学科 学科長 玉井 孝幸 氏にご協力頂き、実社会に出る直前の同学科の3年生、4年生を対象に「コミュニケーション」「チームワーク」「リーダーシップ」をテーマとするゲームを体験させ、それぞれのゲームの直後に実施する「振り返り」で各自の反省と今後の意気込みを引き出させた。		
H27.1.26	皆生グランドホテル天水	平成26年新年例会 担当 総務委員会 ■講演会 演題 鳥取を変える、鳥取から変わる 講師 鳥取県知事 平井 伸治 氏 ■懇親会	51名
H27.2.3	米子全日空ホテル	担当 西部広域まちづくり委員会 ■説明会 テーマ 日本版CCRCの可能性 ピンチをチャンスに変える地方創生 解説者 ㈱三菱総合研究所プラチナ社会研究センター 主席研究員 チーフプロデューサー 松田 智生 氏	32名

内容	今回の例会では「日本版ＣＣＲＣの可能性 ピンチをチャンスに変える地方創生」をテーマに㈱三菱総合研究所プラチナ社会研究センター 主席研究員 チーフプロデューサー 松田 智生 氏からＣＣＲＣについてのご解説と合わせて日本での事例をご紹介頂いた。 人口減少、高齢化をピンチでなくチャンスとして捉え、課題解決をビジネスとして取組むことで、新ビジネスの創造、雇用の創出、ひいては他地域からの移住を促進することができ、シルバー社会から、健康で快適な生活、生きがいを持って暮らせるプラチナ社会の実現を目指すＣＣＲＣの取組みは当地域にも可能性を感じさせるものであった。 また、新潟県産業労働観光部 参与 河合 雅樹 氏から新潟県でのＣＣＲＣの取組みについて紹介する文書が届いており、松村副代表幹事により発表された。		
H27. 2. 20	米子全日空ホテル	担当 コンテンツビジネス産業育成特別委員会 ■講演会 演題 マーケティング４．０時代への地域サバイバル ～２１世紀の資本から地域が自立するために～ 講師 ㈱ヒットコンテンツ研究所 代表取締役社長 吉田 就彦 氏	３６名
内容	今回のオープン例会では、㈱ヒットコンテンツ研究所 代表取締役社長 吉田 就彦 氏を講師にお招きし、「マーケティング４．０時代への地域サバイバル～２１世紀の資本から地域が自立するために～」と題してご講演頂いた。 マーケティング４．０は自己実現に至るマーケティングであり、願いをかなえるマーケティングでなければ人々には響かないマーケティング４．０の時代がこれから到来し、資本と仕事が中央に集中する中で、地方が生き残るために出雲文化圏の戦略として、資源が豊富な「観光」をメイン産業の根幹に据えて、文化遺産的要素とサブカル的要素のコラボレーションによる地域連携が提案された。		
H27. 2. 23	米子全日空ホテル	担当 広域観光戦略特別委員会 ※大山山麓観光推進協議会 主催 ■とっとりスタイルエコツーリズムセミナー ・マレーシアガイド研修報告 ・基調講演 演題 お客様に選ばれる地域の魅力とは 講師 日本エコツーリズム協会 理事 山田 桂一郎 氏 ・パネルディスカッション テーマ 地域活性化のための持続可能な観光振興 ファシリテーター 日本エコツーリズム協会 理事 山田 桂一郎 氏 パネリスト ㈱知床ネイチャーオフィス 代表取締役 松田 光輝 氏 NPO法人大山中海観光推進機構 理事長 石村 隆男 氏 (有)森の国 代表取締役社長 伊澤 大介 氏	９８名
内容	今回の例会は大山山麓観光推進協議会 主催のとっとりスタイルエコツーリズムセミナーに開催協力する形で開催された。 前年に鳥取県が実施したマレーシアガイド研修の報告の後、日本エコツーリズム協会 理事 山田 桂一郎 氏を講師として「お客様に選ばれる地域の魅力とは」をテーマにご講演頂いた。 また、講演終了後に山田氏をファシリテーターに、㈱知床ネイチャーオフィス 代表取締役 松田 光輝 氏、NPO法人大山中海観光推進機構 理事長 石村 隆男 氏、(有)森の国 代表取締役社長 伊澤 大介 氏の３名をパネリストとして「地域活性化のための持続可能な観光振興」をテーマにパネルディスカッションが行われ、事例紹介や今後の観光振興、エコツーリズムの課題についての意見交換が行われた。		

H27. 3. 3	境港さかなセンター内 美なと亭	担当 境港活用特別委員会 ■講演会 演題 美保湾におけるギンザケの養殖について 講師 弓ヶ浜水産㈱ 代表取締役社長 鶴岡 比呂志 氏 ■今日だけ 絶品茹でがに小屋	21名
内容	今回の例会では、弓ヶ浜水産㈱ 代表取締役社長 鶴岡 比呂志 氏を講師にお招きし、「美保湾におけるギンザケの養殖について」をテーマとして同社が美保湾で手掛けるギンザケ養殖の取組みについてご講演頂いた。 講演終了後はカニ、サケといった当地の食資源を参加者に体験して頂く「茹でがに小屋」を開催した。		
H27. 3. 4	米子全日空ホテル	担当 国際経済委員会 ※米子商工会議所金融業部会と共催 ■講演会 演題 ベトナムを中心とした東南アジアの政治経済展望 講師 元 駐ベトナム特命全権大使 坂場 三男 氏	26名
内容	今回のオープン例会は米子商工会議所金融業部会と共催で、元 駐ベトナム特命全権大使 坂場 三男 氏を講師にお招きし、「ベトナムを中心とした東南アジアの政治経済展望」と題してご講演頂いた。 駐ベトナム特命全権大使を務められたご経験からベトナムを中心として、ASEAN各国の経済、民族、歴史等に触れながら、最近の東南アジアの政治経済の情勢と今後の展望についてお話し頂いた。		
H27. 5. 14	ホテルサンルート米子	担当 鳥取大学医学部連携特別委員会 ■講演会 演題 ADは予防できるか？ 講師 元 鳥取大学大学院医学系研究科 准教授 飯塚 舜介 氏	17名
内容	今回は鳥取大学医学部連携特別委員会の担当にて例会を行った。講師に元 鳥取大学大学院医学系研究科 准教授 飯塚 舜介氏をお招きし、「AD（アルツハイマー型認知症）は予防できるか？」と題し、最新の研究成果からアルツハイマー型認知症の原因とその予防のためにできる生活習慣などの対策についてご講演頂いた。		

総務委員会

期日	場所	内容	出席者
H26. 4. 11	米子全日空ホテル	①諸会議出席、事業状況について ②今後の事業予定について ③副代表幹事について ④幹事会、通常総会について ⑤教育フォーラム報告書について ⑥会員登録変更・退会について ⑦その他	18名

H26. 5. 13	米子全日空ホテル	①諸会議出席、事業状況について ②今後の事業予定について ③平成26年度幹事会・定時総会の開催について ④平成25年度事業報告・収支決算及び 平成26年度事業計画(案)・収支予算(案)について ⑤交替会員について ⑥その他	13名
H26. 6. 4	米子全日空ホテル	①諸会議出席、事業状況について ②今後の事業予定について ③交替会員について ④その他	14名
H26. 7. 17	皆生菊乃家	①諸会議出席、事業状況について ②今後の事業予定について ③新入・交替会員について ④その他	18名
H26. 9. 9	米子全日空ホテル	①諸会議出席、事業状況について ②今後の事業予定について ③その他	17名
H26. 10. 8	米子全日空ホテル	①諸会議出席、事業状況について ②今後の事業予定について ③新入会員・交替会員研修会について ④その他	18名
H26. 11. 7	ホテルハーベストイン米子	①諸会議出席、事業状況について ②今後の事業予定について ③退会について ④その他	14名
#####	皆生グランドホテル華水亭	①諸会議出席、事業状況について ②今後の事業予定について ③第41回鳥取県・島根経済同友会合同懇談会 ④その他	19名
H27. 1. 26	皆生グランドホテル天水	①諸会議出席、事業状況について ②今後の事業予定について ③その他	13名
H27. 2. 13	米子全日空ホテル	①鳥取大学医学部連携特別委員会担当例会中止について ②諸会議出席、事業状況について ③今後の事業予定について ④その他	18名

H27. 3. 6	米子全日空ホテル	①諸会議出席、事業状況について ②今後の事業予定について ③退会について ④その他	14名
-----------	----------	--	-----

総務委員会正副委員長会議（正副代表幹事・総務正副委員長）

期日	場所	内容	出席者
H26. 4. 11	米子全日空ホテル	①総務委員会上程案件について ②その他	10名
H26. 5. 13	米子全日空ホテル	①総務委員会上程案件について ②その他	5名
H26. 6. 4	米子全日空ホテル	①総務委員会上程案件について ②その他	7名
H27. 7. 17	皆生菊乃家	①総務委員会上程案件について ②その他	7名
H26. 9. 9	米子全日空ホテル	①総務委員会上程案件について ②その他	7名
H26. 10. 8	米子全日空ホテル	①総務委員会上程案件について ②その他	9名
H26. 11. 7	ホテルハーベストイン米子	①総務委員会上程案件について ②その他	7名
#####	皆生グランドホテル華水亭	①総務委員会上程案件について ②その他	10名
H27. 1. 26	皆生グランドホテル天水	①総務委員会上程案件について ②その他	7名
H27. 2. 13	米子全日空ホテル	①総務委員会上程案件について ②その他	8名
H27. 3. 6	米子全日空ホテル	①総務委員会上程案件について ②その他	7名

委員会・特別委員会他

期日	名称	場所	内容	出席者
H26. 4. 22	平成26年度事業計画の打合せ	日本料理 雲海	①平成26年度事業計画について ②意見交換 ③その他	7名
H26. 5. 24	地域活性化特別委員会正副委員長会議	日本料理 心	①平成26年度委員会事業について ②その他	3名

H26. 6. 27	地域活性化特別委員会正副委員長会議	高島屋 ローブダイニング	①「日南町の地元食材の再発見と自然を体感する会」の実施について ②その他	3名
H26. 7. 1	教育問題委員会	米子商工会議所	①平成26年度事業 教育フォーラムについて ②その他	6名
H26. 8. 7	鳥取県経済再生成長戦略検討委員会正副委員長会議	ピアノピアノ	①今後の取組みについて ②その他	5名
H26. 8. 11	鳥取島根合同委員会	島根経済同友会事務所	①鳥取県・島根経済同友会の隠岐島視察研修について ②その他	14名
H26. 8. 12	教育フォーラム実施に係る検討会	米子商工会議所	①第2回教育フォーラム実施について ②その他	6名
H26. 9. 16	広域観光戦略特別委員会正副委員長会議	桔梗屋	①平成26年度委員会事業について ②その他	3名
H26. 10. 7	教育問題委員会	米子商工会議所	①平成26年度事業 教育フォーラムについて ②その他	6名
#####	教育問題委員会	米子商工会議所	①第2回教育フォーラム事前研修 ②その他	7名
H27. 1. 19	広域観光戦略特別委員会正副委員長会議	日本料理 雲海	①担当例会「エコツーリズム啓発セミナー」の開催について ②広域観光戦略の視点から 当地の観光の今後のあるべき方向について ③その他	4名
H27. 2. 6	鳥取島根合同委員会	日本料理 雲海	①第41回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会について ②その他	5名
H27. 2. 16	鳥取島根合同委員会	米子商工会議所	①第41回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会について ②その他	9名
H27. 2. 20	境港活用特別委員会正副委員長会議	境港さかなセンター内 美なと亭	①例会について ②当日の役割、進行について ③予算等確認	4名

視察会・研修会等

期日	名称	場所	内容	出席者
H26. 5. 20 ～23	タイ・バンコク 視察研修会	ジェトロバンコ ク、山陰合同銀 行バンコク事務 所他	※米子商工会議所金融業部会と共催 ①説明会・意見交換会（ジェトロバンコク） ・説明者：バンコクビジネスサポートセンター 代表 岡部 研一郎 氏 ・タイの概況とASEAN経済について ・タイの投資環境について ・タイ人とのつきあい方について ・タイでの会社設立について ②説明会・意見交換会（山陰合同銀行バンコク事務所） ・説明者：(株)山陰合同銀行 バンコク駐在員事務所 所長 原 善雄 氏 ・タイにおける商業（卸・小売業）の状況について ・小売業の業態別（百貨店・スーパー等）シェアについて ・タイの政治情勢について ③商業施設視察 ・視察施設：セントラルワールド（百貨店）、伊勢丹	8名 (当会より5名 参加)
H26. 5. 31	庄司家庭園 見学会	庄司家	①庭園見学	10名
H26. 7. 17	新入・交替会員 研修会	皆生菊乃家	①経済同友会の概要について ②鳥取県経済同友会西部地区の活動について ③各委員会の活動について ④その他	29名
H26. 10. 2 3 ～24	鳥取県経済同友 会・島根経済同 友会 隠岐島合 同視察研修	隠岐の島町、隠 岐プラザホテル、西ノ島町	①隠岐の島町ジオパーク視察 ②記念講演 ・演 題：離島からの挑戦～最後尾から最先端へ～ ・講 師：隠岐郡海士町長 山内 道雄 氏 ③意見交換 ④交流懇親会 ⑤西ノ島町視察	36名 (当会より7名 参加)
H26. 11. 1 ～2	サントリー白州 蒸溜所・登美の 丘ワイナリー視 察会	サントリー白州 蒸溜所、サント リー登美の丘ワ イナリー	①サントリー白州蒸溜所 蒸溜所セミナー 「THE HAKUSHU ～南アルプスの豊かな森と水に育まれたウィスキー～」 ②サントリー登美の丘ワイナリー セミナー 「日本ワインセミナー」	8名

#####	マネジメント実践セミナー in 米子	中海テレビ放送センタービル	①マネジメント実践セミナー ・演 題：マネジメント実践セミナー イントロダクション ・講 師：NPO法人インターナショナル・メンタル・キャタリスト・アソシエーション 代表理事 石山 陽圓 氏	30名 (当会より9名出席)
-------	--------------------	---------------	---	-------------------

その他会議（協賛、後援含む）等

期日	名称	場所	内容	出席者
H26. 4. 17 ～18	第27回全国経済同友会セミナー	ホテルセンチュリー静岡	■ 4月17日 ①基調講演 ・演 題：日本と地域の新・成長戦略 ・講 師：東京大学大学院経済学研究科 教授 伊藤 元重 氏 ②岩手、仙台、福島経済同友会からの報告 ③分科会 ④懇親会 ■ 4月18日 ①各分科会報告 ②特別講演 ・演 題：江戸の遺伝子・日本人の遺伝子 ・講 師：(公財)徳川記念財団理事長 (徳川宗家十八代当主) 徳川 恒孝 氏 ③次期開催地代表幹事挨拶 ④閉会挨拶	全体983名 登録 (当会より5名出席)
H26. 5. 21	平成26年度米子空港利用促進懇話会総会	米子全日空ホテル	①平成25年度事業報告及び収支決算報告について ②規約の改正について ③平成26年度事業計画及び収支予算について ④その他	庄司副代表幹事 出席
H26. 5. 26	平成26年度山陰国際観光協議会第1回総会	米子全日空ホテル	①平成25年度事業報告及び収支決算報告について ②平成26年度事業計画及び予算の変更について ③規約の改正について ④その他	事務局出席

H26. 6. 2	平成26年度 (一社)山陰コ ンテンツビジネ スパーク協議会 総会	中海テレビ放送 センター	①平成25年度事業報告及び収支決算報告について ②平成26年度事業計画及び収支予算(案)について ③定款変更について ④役員改選について ⑤会員拡大策について ⑥平成26年度鳥取県のコンテンツ関係の事業概要説明 ⑦セミナー ・演 題: コンテンツビジネス事例発表 ・講 師: (一社)山陰コンテンツビジネスパーク協議会 理事長 宇田川 正樹 氏 理 事 平尾 貴志 氏	事務局出席
H26. 6. 4	鳥取県経済同友 会平成26年度 幹事会	米子全日空 ホテル	①定時総会上程案件について ②その他	当会より24名 出席
H26. 6. 4	鳥取県経済同友 会平成26年度 定時総会	米子全日空 ホテル	①平成25年度事業報告並びに収支決算について ②平成26年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について ③役員補充について ④基調講演 ・演題: 地方分権・道州制 現状と課題 ・講師: (公社)経済同友会副代表幹事 柏木 斉 氏 ⑤懇親会	当会より46名 出席
H26. 6. 5	米子中金会・米 子中金ユース会 記念講演会及び 総会後懇親会	皆生グランドホ テル天水	①記念講演会 ・演 題: 撮られる側から撮る側へ ・講 師: 写真家、元ミスユニバース日本代表 織作 峰子 氏 ②懇親会	当会より10名 出席
H26. 6. 10	山陰国際観光協 議会 平成26年 度第1回国際定 期航路利用促進 委員会	米子商工会議所	①米子ーソウル国際定期便の利用促進の緊急対策について ②各種支援制度説明、意見交換等	松村副代表幹事 出席
H26. 6. 11	高橋経営研究会 講演会	皆生つるや	①講演会 ・演 題: アベノミクスの今後の課題 ー経済成長と財政再建は両立可能か?ー ・講 師: 大阪大学名誉教授 近畿大学顧問 本間 正明 氏	当会より15名 出席

H26. 7. 2	第 7 回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット	山形グランドホテル	①開会挨拶 山形経済同友会代表幹事 熊谷 眞一 氏 ②基調講演Ⅰ ・演 題：やまがたと最上川文化 ・講 師：東北文教大学教授 菊池 和博 氏 ③基調講演Ⅱ ・演 題：日本海側拠点港酒田港の役割 ・講 師：山形県土整備部長 上坂 克巳 氏 ④記念写真撮影 ⑤交流レセプション	秦野代表幹事出席
H26. 7. 4	中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会平成 2 6 年度総会	松江商工会議所	①平成 2 5 年度事業報告並びに収支決算について ②平成 2 6 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について ③その他	宇野副代表幹事出席
H26. 7. 28	米子工業高等専門学校教育懇談会	米子工業高等専門学校	①米子工業高等専門学校の今後のビジョンについて	秦野代表幹事、柳谷総務副委員長出席
H26. 7. 31	平成 2 6 年度鳥取県西部地区 E V 利用情報連絡会	鳥取県西部総合事務所	①県・市町村の取組の現状 ②レンタカーの利用状況 ③会員からの近況報告 ④意見交換	松村副代表幹事出席
H26. 9. 20	高橋経営研究会講演会	ホテルサンルート米子	①講演会 ・演 題：日本経済の見方 ・講 師：東京大学大学院経済学研究科 教授 伊藤 元重 氏	当会より 1 1 名出席
H26. 9. 25	第 1 0 回サイクリングロード整備検討委員会	米子商工会議所	①ジャパンエコトラックについて ②中海周遊コースの進捗状況について ③白砂青松・弓ヶ浜コースの整備計画について	秦野代表幹事出席
H26. 10. 1	米子 - 東京便就航 5 0 周年記念式典	米子鬼太郎空港ターミナルビル	①あいさつ ②感謝状贈呈 ③記念パネル除幕	庄司副代表幹事出席
#####	鳥取県サイクリング環境整備検討会	倉吉体育文化会館	①サイクリングコースの検討 ②サイクリストの誘客に必要な環境整備の検討	秦野代表幹事出席
#####	中国・四国 9 県各経済同友会代表幹事と(公社)経済同友会幹部との意見交換会	リーガロイヤルホテル広島	①講演 ・演 題：『まち・ひと・しごと創生本部』の取り組みについて ・講 師：内閣府副大臣(地方創生担当) 平 将明 氏 ②報告：各経済同友会による地域活性化の取り組みについて	秦野代表幹事出席

#####	米子工業高等専門学校創立50周年記念式典	米子コンベンションセンター、米子全日空ホテル	①記念式典 ②記念講演会 ・演 題：国際社会に生きる～私が日本を好きな理由～ ・講 師：歌手・教育学博士 アグネス チャン 氏 ③記念祝賀会	秦野代表幹事出席
H26. 12. 4	高橋経営研究会講演会	皆生つるや	①講演会 ・演 題：2015年の日本経済を読む ・講 師：NTTデータ経営研究所 所長 齋藤 精一郎 氏	当会より14名出席
H27. 1. 20	平成26年度観光コンベンションセミナー	米子全日空ホテル	①講演会 ・演 題：東京2020オリンピック・パラリンピック にむけて～我々は何をすべきか～ ・講 師：ミズノ(株) 会長 水野 正人 氏 ②水野正人氏を囲んでの懇談会	当会より11名出席
H27. 1. 22	(株)商工組合中央金庫米子支店新春講演	皆生グランドホテル天水	①講演会 ・演 題：『脳の若返り術』 ～元気なうちに物忘れしない脳をつくる！～ ・講 師：ジャーナリスト・コラムニスト・ 肥満予防健康管理士・メンタルケア心理士 橋本 テツヤ 氏	当会より9名出席
H27. 1. 27	海外人材活用セミナー	米子全日空ホテル	①解 説 ・演 題：留学生等海外人材活用のための 在留資格について ・講 師：NPO法人ビザサポートセンター 理事長・行政書士 益田 浩司 氏 ②講演会 ・演 題：海外人材の採用から活用まで ・講 師：(株)テクノプロジェクト 代表取締役社長 吉岡 宏 氏 ③講演会 ・演 題：山陰の中小企業の海外展開と海外人材の活用 ・講 師：島根県立大学 総合政策学部 准教授 久保田 典男 氏	当会より4名出席
H27. 3. 2	皆生温泉オリジナル日本酒「皆生温泉・海に降る雪 上代」新酒発表会	皆生グランドホテル天水	①「皆生温泉・海に降る雪 上代」新酒発表会	当会より11名出席

H27. 3. 10	鳥取県経済同友会正副代表幹事会	倉吉シティホテル	①平成27年度定時総会（案）について ②IPPO IPPON NIPPON プロジェクトについて ③県同友会に対する負担金等について ④第2回西日本経済同友会代表者会議について ⑤全国会議・合同懇談会について	当会より4名 出席
H27. 3. 18	第3回地方都市における都市機能設置・誘導手法勉強会	米子全日空ホテル	①趣旨説明 ・日本大学経済学部教授 中川 雅之 氏 ②講演1 ・演 題：地方創生・ふるさとの未来のために今 ・講 師：内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部 事務局次長 伊藤 明子 氏 ③講演2 ・演 題：CCRCについて ・講 師：㈱三菱総合研究所 執行役員 プラチナ社会研究センター長 鎌形 太郎 氏 ④総括 ・日本大学経済学部教授 中川 雅之 氏	宇野副代表幹事 出席